

広報

あかいけ

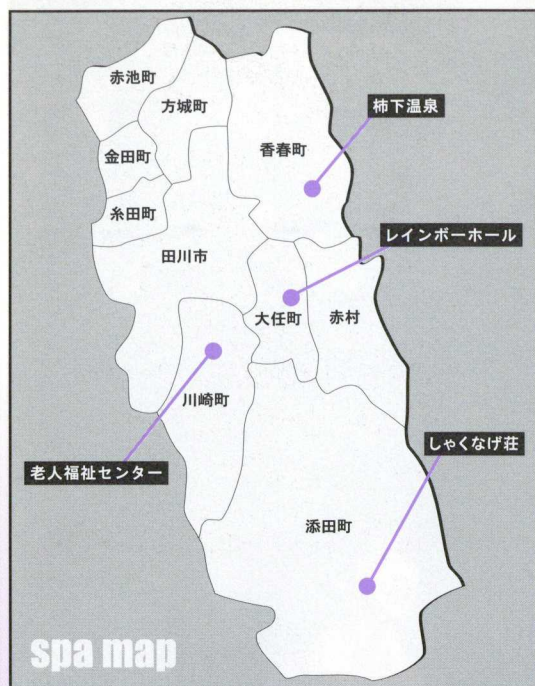
2

吐息も白く肌寒いこの季節
 もくもくと湯気が登る
 あったか〜いお湯に
 ドップリとつがりたいものです。
 ということで今回は
 田川市観光報紙合同企画として
 各市町村自慢の温泉・お風呂を
 ご紹介します。

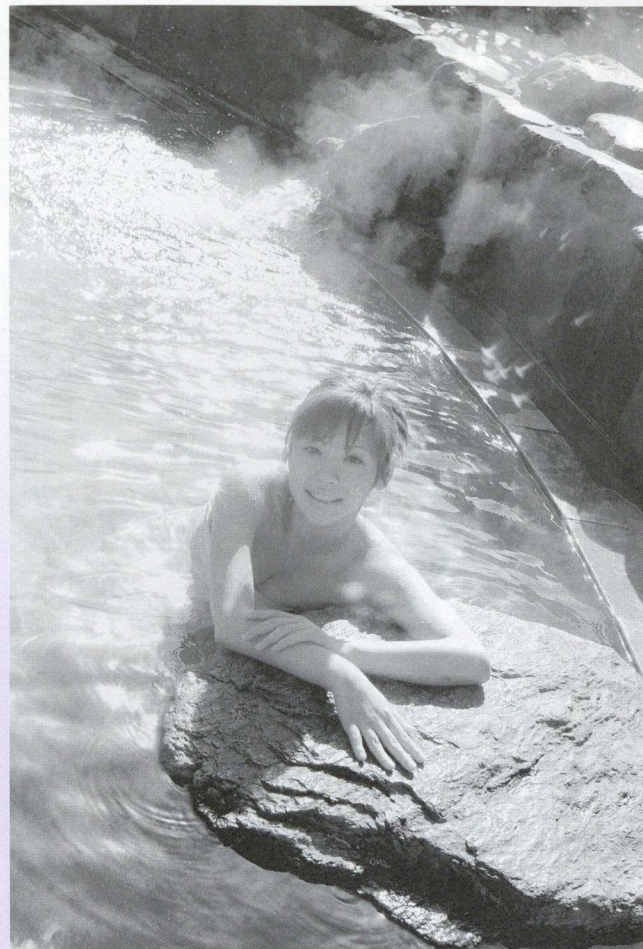
天然温泉、湧かし湯などなど…
 個性豊かな近場のお湯に
 ぜひ足をお運びください——。

●特集
 近場で満足！湯^ゆったりのんびり温泉三昧^{さんまい}

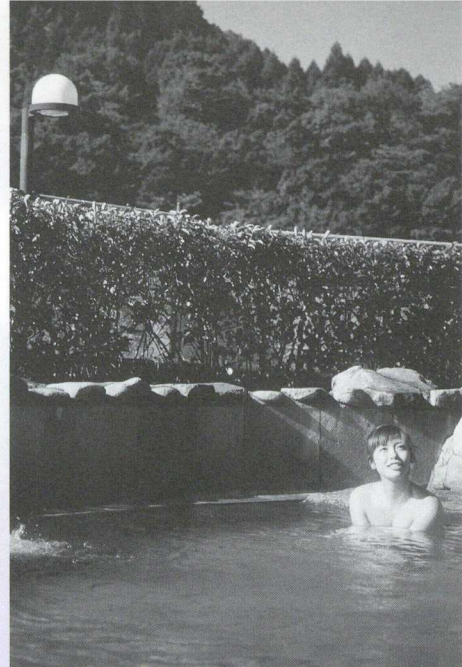
「湯どころ田川めぐり」



↑しゃくなげ荘の泉質は、①単純放射能温泉ラドン温泉と、②ナトリウム炭酸水素温泉の2種類があります。



←大自然に抱かれた温泉で、心も身体もリフレッシュ！

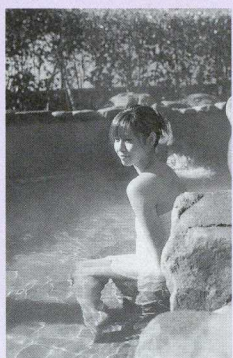


→山の麓にあるしゃくなげ荘、露天風呂からは四季の風景が楽しめます。

添田町 しゃくなげ荘

日本三大修験・英彦山に湧き出た天然ラドン温泉

霊山・英彦山を望む名所、数々の旧跡を残す添田町に田川地区温泉ブームの先駆けとなった「しゃくなげ荘」があります。平成五年に温泉を掘り当てて以来、根強い温泉ファンから脚光を浴び続



けています。

昨年、新しい源泉を掘削し、豊富な天然ラドン温泉が湧きました。十二月から新湯で操業しています。

ラドンは、井戸水や湖水にも微妙に含まれ、あらゆる物質の中でも最もイオン作用が強く水に溶ける安定した気体で、呼吸とともに血液中に吸収されることから、医療用として活用されています。

強力なイオン化作用により血液中の老廃物、脂肪などの生理代謝が促進され、コリや痛みがすみやかに消えていきます。

効能は、痛風、動脈硬化、高血圧症、慢性胆のう症、胆石症、慢性皮膚病、慢性婦人病などです。

豊富に湧く湯の音を聞きながら景色のよい露天風呂に身を委ね、のんびり・ゆったりした時間を大自然の中で過ごす贅沢。からだの芯まで温まったその後は、山の幸をふんだんに使った料理に舌鼓：なんてのも良いですよ。近くには民営の酒蔵「酒源の泉」もありますよ。

開館時間は十時から二十一時で年中無休。料金は中学生以上の一般が五百円、小学生が三百円、三歳以上の幼児が二百円となっています。



↑しゃくなげ荘までは、JR彦山駅から添田交通バスで10分。お問い合わせは、TEL 85-0123まで。

大任町◎レインボーホール

大任町の温泉は、ナトリウムイオン・塩素イオン・炭酸水素イオン・ラドン・メタケイ酸・メタホウ酸・遊離二酸化炭素の七つの温泉成分を含んだ天然温泉で、それぞれの含有量が基準値よりも高い（温泉成分が濃い）のが特徴です。成分が多い分、幅広い症状に効果があります。

営業は十時から十七時。毎週月曜日（月曜日祝日の場合はその翌日）が休館。入館料は六十歳以上・中学生以下・障害者三級以上が百円、一般が二百円、町外者はそれぞれ一・五倍。ヘルストロンの利用が百円です。

問い合わせ先
大任町社会福祉協議会
TEL (63) 4828

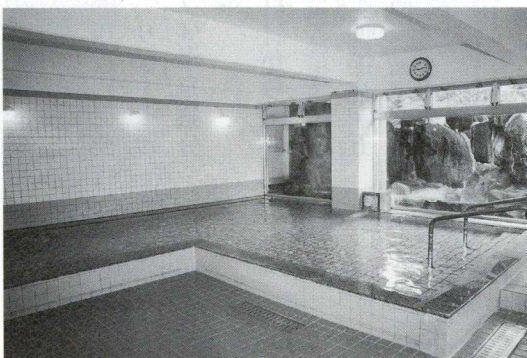


川崎町◎老人福祉センター

川崎町の温泉は、稀有元素を含む天然鉱石の中で、最もイオン化作用（生体活性作用）の強い光明石を泉源体とした「光明石温泉」です。神経痛・リウマチ・肩こり・冷え性・腰痛・痔などに効果があります。

営業は十時から二十時。毎週月曜日（第三月曜日除く）・第三日曜日・祝日が休館。入館料は六十歳以上・小中学生が二百円（町外者三百円）、一般が三百円（町外者四百円）、八十歳以上、重度身障者にはフリーパス券を発行しています。料金に入浴・トレーニング室・カラオケ料が含まれます。

問い合わせ先
川崎町老人福祉センター
TEL (72) 5244



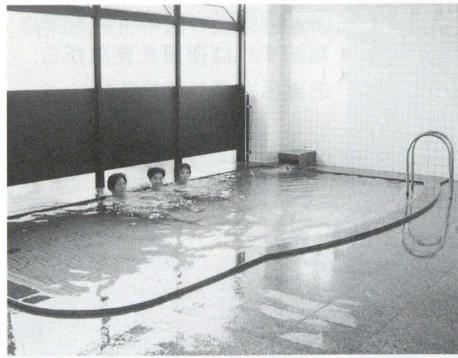
香春町◎柿下温泉

柿下温泉は、田川の温泉の中で最も古い民営温泉で、療養泉として全国に知られています。高濃度ラドン温泉の効能を目当てに県外から多くの人が訪れています。

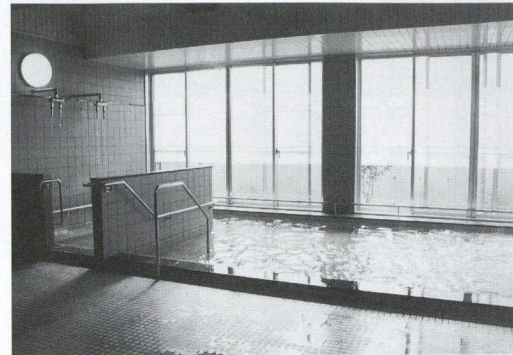
温泉は無色透明でほとんど無味無臭。リウマチ性疾患、痛風、尿酸素質、動脈硬化症、高血圧症、慢性肝・胆道疾患などに効果があります。

営業は十時から二十一時。毎月第一・第三火曜日が定休日（定休日祝日の場合は営業）。入浴料は大人八百円、子ども五百円、幼児三百円です。

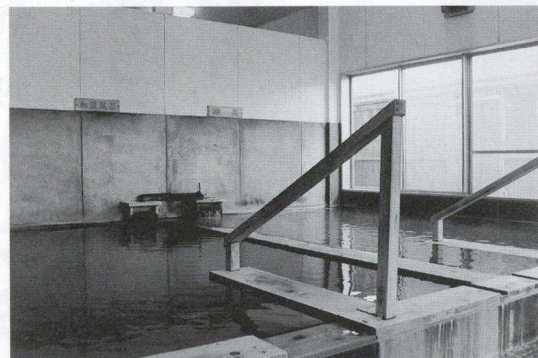
問い合わせ先
柿下温泉
TEL (32) 5551



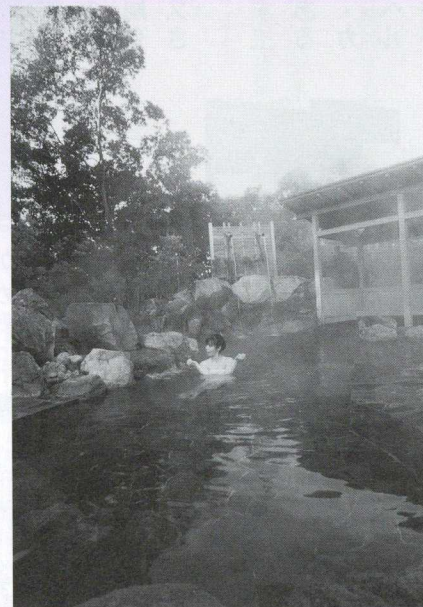
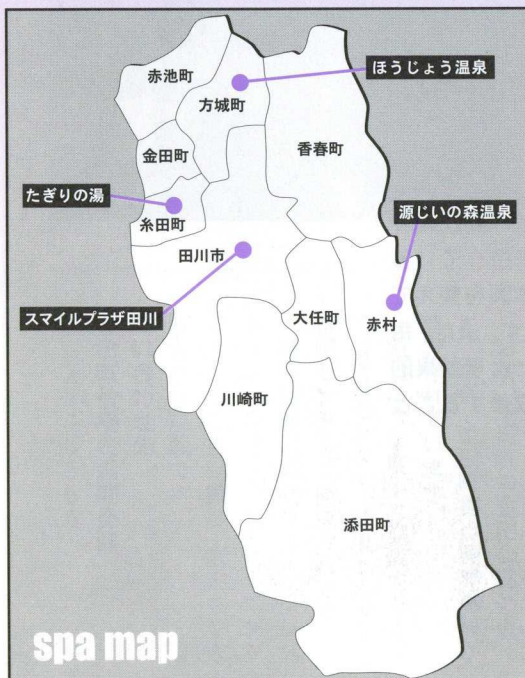
田川市◎スマイルプラザ田川
薬石「光明石」を泉源体とした温泉で、お肌がつるつるになることから、別名「活性の湯」といわれています。お湯が柔らかく、体の芯まで温まるので湯ざめしにくいのが特徴。入浴時間は十〜二十分が最適で、お湯から出るときは薬効が体から流れないように、そのまま拭いて上がってください。営業は十時から二十一時。毎週月曜日・毎月第三日曜日（翌日の月曜日開館）・祝日・お盆と年末年始が休館。入館料は六十歳以上・小学生・三歳以上の幼児・障害者が二百円（市外者三百円）、中学生以上の一般が三百円（市外者四百円）です。
問い合わせ先
田川市福祉センター
TEL (44) 5756



糸田町◎たぎりの湯
糸田町の温泉「たぎりの湯」も放射性元素を含む天然鉱石の中で、最もイオン化作用が強いとされる薬石「光明石」を泉源体としています。
神経痛・リウマチ・肩こり・冷え性・腰痛・痔などに効果があり、入浴を重ねることに効能が自覚できます。
営業は十時から二十時。毎月第一月曜日・お盆と年末年始が休館です。入館料は一般が二百円（町外者三百円）、糸田町内の八十歳以上の人は無料。十二枚綴りの回数券を買うとお得です。
問い合わせ先
たぎりの里内社会福祉センター
TEL (26) 4567



方城町◎ほうじょう温泉
ほうじょう温泉の泉質は、ナトリウム炭酸水素塩・塩化水素塩（弱アルカリ性低張性温泉）で別名「美人の湯」といわれています。平成十一年十二月にオープンした温泉浴場は、仮設であるにもかかわらず、連日町内外の利用客でにぎわいをみせています。効能は神経痛・筋肉痛・慢性消化器病・痔・冷え性などです。
営業は十時から二十時。毎週月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）休館。入浴料は、町内外問わず大人が二百円、子どもが百円です。低料金がうれしいですね。
問い合わせ先
ほうじょう温泉
TEL (22) 4947



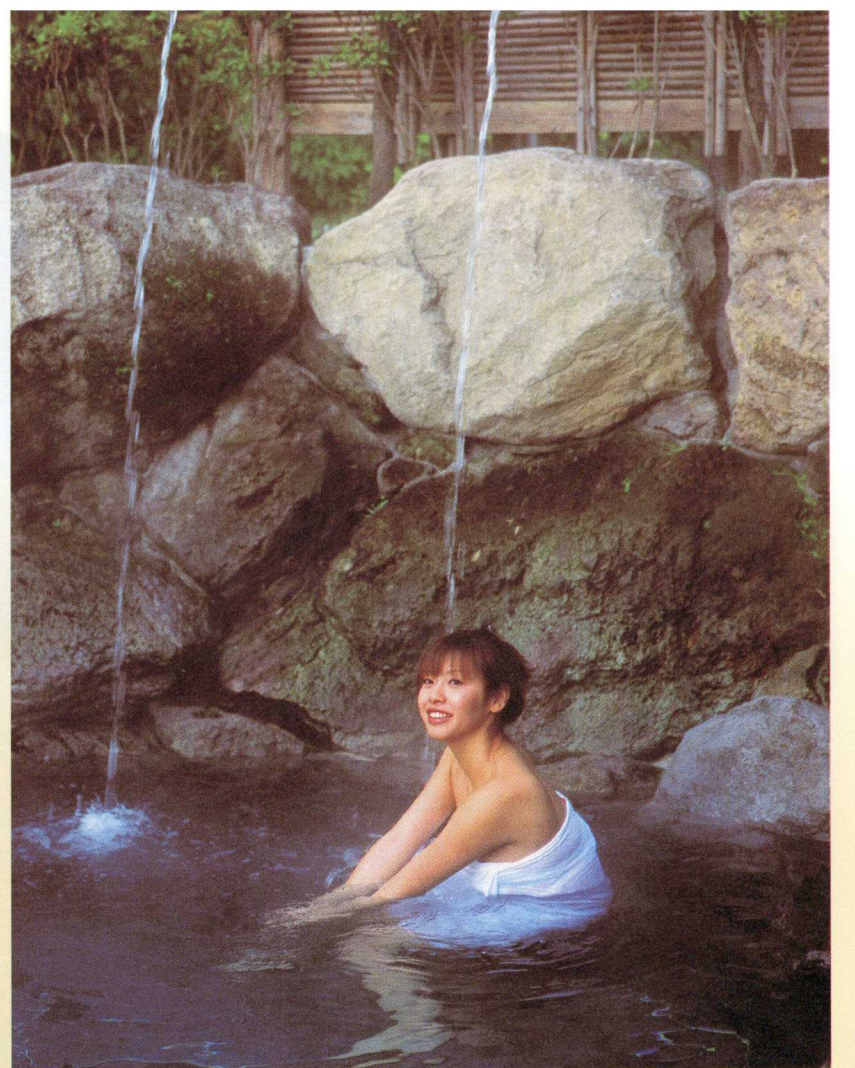
おだやかで静かな時が流れる源じいの森温泉の露天風呂。



源じいの森温泉は、平成筑豊鉄道源じいの森駅に隣接しています。
問い合わせ先
TEL (62) 2851



風情ある中庭の竹林。



露天岩風呂の打たせ湯が、疲れた身体をほぐします。

くつろぎの一時を楽しむ 竹林に囲まれた憩いの宿

赤村 源じいの森温泉

今や赤村の名物となった施設「源じいの森」。向かい側の坂を上ると竹林を切り開いた小高い丘に、数寄屋造りを思わせる回廊式平屋の建物が見えてきます。昨年二月にオープンした「源じいの森温泉」です。建物を上から見ると、長寿の象徴である亀の甲をイメージして造られているのが分かります。竹で飾られた中庭を眺めながら回廊を渡ると、奥に大浴場があります。浴場の湯船の縁からほのかにヒノキの香りが漂い、無味無臭でサラッとしたお湯が身体を包みます。大浴場から露天風呂に出ると、竹林が一望できる岩風呂と客室のデッキに居るような六角形の泡風呂があり、一日おきに男女の使用が入れ替わります。



源じいの森温泉には、地元赤村・田川地区からはもちろん、北九州市や福岡市からの客も多く、休日はたくさんの人でにぎわいます。当初、年間10万人を目標にしていた入浴客数を、わずか半年で達成したという人気スポットです。

竹林と雑木林に囲まれ、まるで自然に抱かれているような「源じいの森温泉」。建物全体に木がふんだんに使われているため、リゾートホテルに居るような温泉気分が満喫できます。地下、一千七百メートル湧き出るアルカリ性単純温泉は、神経痛・筋肉痛・関節痛・五十肩・慢性消化器病・痔・冷え性などに効果あり。営業は年中無休で、開館時間は十時から二十一時。料金は中学生以上の大人が五百円、五歳以上の子どもが三百円、村外者はそれぞれ百円増しで、平成筑豊鉄道利用者は五十円引になります。